

学長式辞

春爛漫の季節を迎えました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。駿河台大学教職員一同、皆さんを心より歓迎いたします。また、これまで新入生の皆さんを支えてこられた保護者・関係者の皆さまにも、心よりお祝い申し上げます。ご来賓の皆さまにおかれましては、ご多忙の中、ご臨席を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

本学は、昭和62年に開学し、今年で40周年を迎えます。この間、「一人ひとりの夢と個性を尊重し、ともに歩む教育」の実践に努め、現在では5つの学部と大学院の2研究科を擁する総合大学に成長しました。また、これまでに、世に送り出してきた卒業生の数は、優に3万名を超えています。

さて、新入生の皆さんは、これから大学生として、高校までの勉強とは質的に異なる学問の世界にふれることとなります。それぞれの分野で高い専門性を持つ教員たちが、皆さんを学問の世界にいざないます。どうか、学問の持つ魅力を存分に味わってください。

もちろん、学問であるからには、簡単に理解し、すぐに現実の生活において応用ができるものとは限りません。授業では難解な用語や難しい概念に戸惑い、投げ出したくなることも、あるかもしれません。しかし、すぐにわからなくても、心配することはありません。実は、それは私も含めて、過去多くの学生たちが経験してきたことなのです。複雑な社会に起こるさまざまな問題や、人間の生き方、心の問題などを根本的かつ体系的に考察しようとするのが学問です。そこには、先人たちによって考え抜かれた貴重な知恵と知識が詰まっています。どうか、気を長く持って、粘り強く学び続けてください。

また、本学における学びは、学問のための学問にとどまるわけではありません。それぞれの授業では、皆さんが社会で生き抜くために必要とされる力、本学のいうところの「駿大社会人基礎力」を身につけることを目標としています。「駿大社会人基礎力」の内容は、主体的行動力、コミュニケーション力、チームワーク力、統率力、問題解決力など社会で役立つ実践的な力で構成されています。本学の教育は、まさにそれらの力を培うことを意識して、組み立てられているのです。少人数で構成されるゼミ、コミュニケーション力の向上を図るキャリア教育、「地域」を学びの場として位置づけたアウトキャンパス・スタディ、世界の各地にある留学・語学研修など、本学が用意した学びの舞台や仕組みを積極的に活用して、「駿大社会人基礎力」の向上を図ってください。

なお、大学生になると、これまでより自由に使える時間がたくさんあります。運動部や文科系サークルでの活動、駿輝祭と言われる大学祭への参加、ボランティア活動などの体験

も、自分自身を磨き、社会人となるための力を身につける上で格好の機会となるはずです。また、本学に集まるさまざまな国や地方から来た学生たちと付き合うことも貴重な機会です。異なる文化、考え方、習慣などを持つ人々の立場を尊重し、お互いに意見を交換しながら、一致点を見つけ、ともに協力しながら課題の解決を図ることを学んでください。

なお、こうした大学での学びの内容は、高校までとはずいぶん異なり、はじめのうちは戸惑う人もいるでしょう。また、大学生活になじむことにさまざまな不安があるかもしれません。何かあったら、けっして一人で悩まずに本学の教職員・スタッフに遠慮なく相談してみてください。教職員一同は、皆さんの成長を願い、全力でサポートしていきます。

昔からよく学びよく遊べと言われます。勉強と遊びのバランスのとれた生活が大切だということです。疲れたら休息をとり、楽しい時間を持つことが、柔軟な物の見方や発想につながります。若い皆さんは、一つの物の見方や考え方にとらわれることなく、やわらかい心でさまざまなものを吸収し、変化の激しいこれからの社会を生き抜く力を身につけていってください。新入生の皆さんが大学生活を存分に謳歌し、4年間の学生生活を通じて心豊かに成長されることを願って、ご入学のお祝いの言葉といたします。

本日はまことにおめでとうございます。

令和8年4月3日

駿河台大学学長 大森一宏